



2020年10月30日

各位

会社名 ネットイヤーグループ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 石黒 不二代
 (コード番号：3622 東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員コーポレート本部長 播本 孝
 (TEL. 03-6369-0550)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年4月28日に公表しました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の連結業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想

(1) 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	5,400	50	50	40	5円72銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	5,465	△77	△77	△68	△9円75銭

(2) 業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、経済環境の回復時期や顧客企業におけるマーケティング活動への影響が不透明であったことから未定としておりました。緊急事態宣言の解除後、社会経済活動は徐々に再開され、また当社グループの業績に対する影響もある程度明らかとなり、業績予想の合理的な算定が可能となったため、上記のとおり業績予想を公表するに至りました。なお、依然として新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通すことができない状況ですが、再度の緊急事態宣言発令等、社会経済活動を著しく制限するような事態は想定しておらず、業績予想算定上は緩やかに収束に向かうと仮定しております。

当社グループは、感染拡大防止のための施策を講じるとともに、基本的に働く場所を問わない完全テレワーク制度に移行しております。当第2四半期累計期間におきましては、一部顧客企業における投資抑制や、SNS広告サービス等の落ち込みから売上高が減少しておりますが、プロジェクトの運営は概ね問題なく遂行できており、当社グループの事業活動に対する新型コロナウイルス感染症の影響は限定的なものとなっております。

第3四半期以降は、顧客企業におけるデジタル技術を用いた製品やサービス、ビジネスモデルを変革するニーズが徐々に増えて行くことが期待され、下半期の売上高は前年並みを見込み、通期の売上高は微減の予想となっております。また利益面におきましては、外注費等のコストの抑制や生産性の向上、付加価値の高いサービスへの注力により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は黒字回復を見込んでおります。

2. 配当予想について

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	—	—	—	3円25銭	3円25銭
当期実績	—	0円00銭			
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	—	0円00銭	—	3円25銭	3円25銭

(2) 配当予想の理由

利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的で継続的な配当を行なっていくことを基本方針としております。また将来的には、期間業績に応じた成果配分を利益配分方針の中心に据え、配当性向等の定量基準を定めていきたいと考えております。

2021年3月期の配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により業績予想を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、上記の基本方針ならびに2021年3月期の業績予想に基づき、1株当たり3円25銭とさせていただきます。

(注)

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上